

●Zero-Pi Fighting Board EASY 組付けマニュアル●

●添付品

・Zero-Pi Fighting Board EASY
(以下 UFBE)本体

・INSIDE シール

●UFBE の特徴

- ・NS/PS/PS2/PS3/PC(X-Input)に対応。
(PS4/PS5/XBOX 非対応だがその分安価)
- ・低遅延
- ・ケーブル接続用端子台があり、半田いらず。
- ・FIGHTING BOARD CABLE とピン互換。

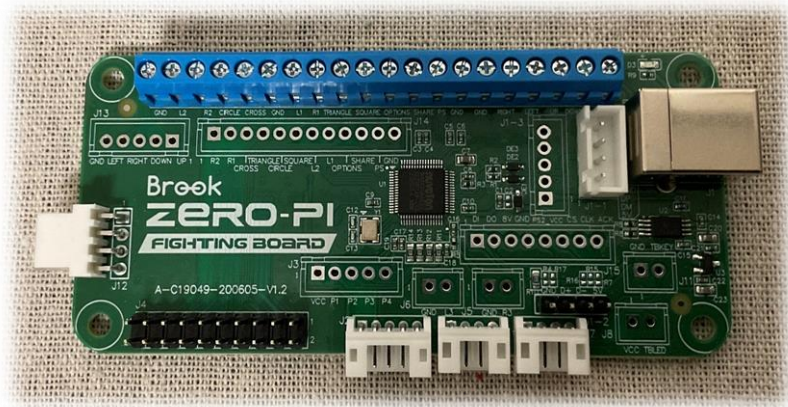


古いアーケードスティックに UFBE を組み込んで、PC で低遅延を実現したいと思います。

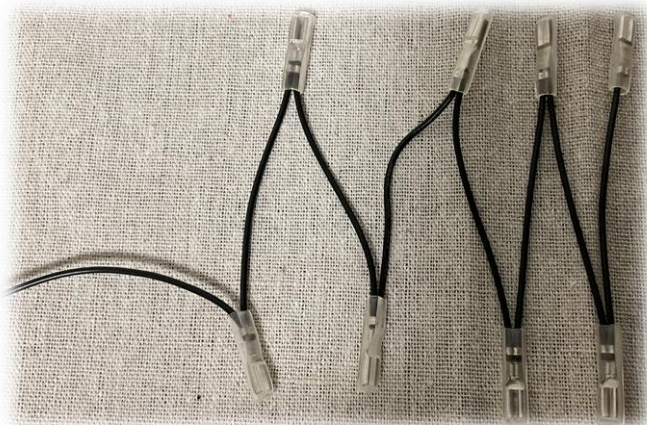
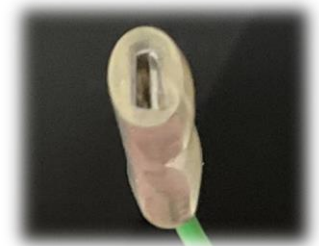
今回はリアルアーケード PRO V3 SA(以下 RAP)を改造します。スティックとボタン 9 個(白 8+灰色 1)を使えるようにします。その他のボタンを使用したい場合、既存配線カットや基板上への配線追加が必要になるでしょう。

●組付けの前に

UFBE は写真の様に青い端子台があります。既存ケーブルを切断、被膜を剥けば、ハンダいらずで簡単にネジ留めできます。



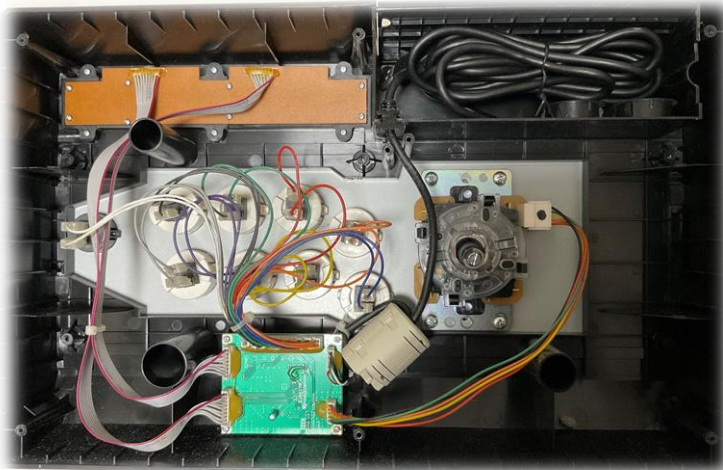
ですが、Brook Fighting Board CABLEを使用すれば、ケーブル先端にファストン端子(下写真)がついていますので抜き差しだけで作業が完了できます。



また、GND 端子は数珠つなぎになっていますので、簡単にスッキリと配線できます。

このケーブルは UFB と互換性がありますので、将来的に UFB に交換したい場合、UFBE 側の端子を一つ抜き差しするだけで交換可能になります。使い勝手が良かったら PS4 や PS5 で使用したいので、このケーブルを採用することにしました。

●組付け手順



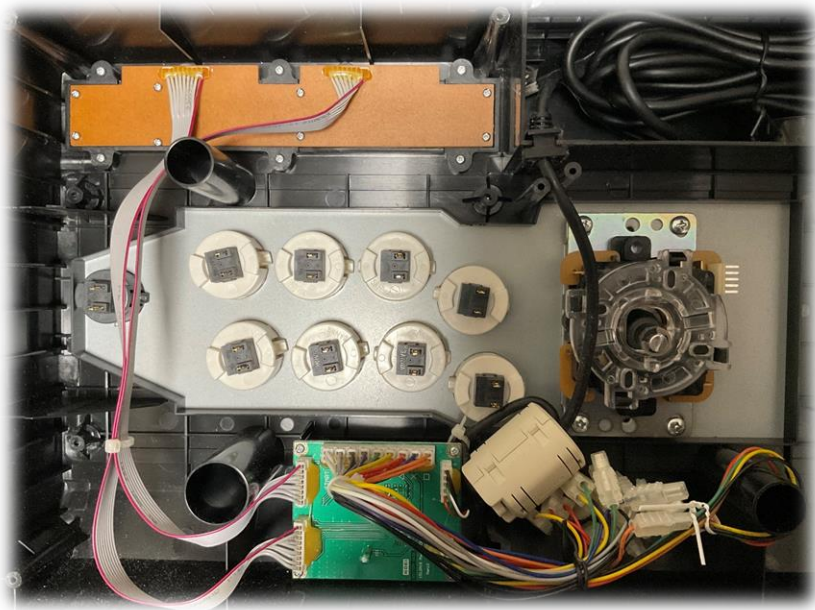
1.裏蓋を外す

RAP の場合、6 か所のネジを外します。ゴム足部分のネジは外す必要がありません。

2. ボタンとスティックのケーブルを外す

ボタン側の端子を曲げないように気を付けてケーブルを外しましょう。

スティックの白い端子(下写真)は抜け防止がありますので、軽く浮かすと抜けやすくなります。



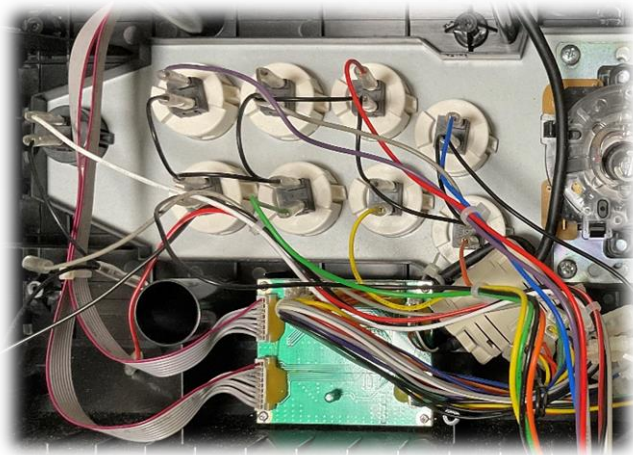
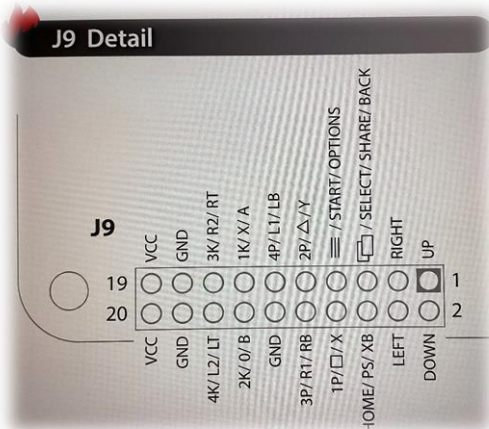
抜いたケーブルは使用しないので、切り取るか、空いたスペースにまとめておきましょう。

3. ケーブルのファストン端子をボタンの端子に差し込む

まずは数珠つなぎになっている GND ケーブルを接続してしまいましょう。ボタン一つにつき一つの GND ファストン端子を差し込んでいきます。これらのボタンに極性はないので、二つの端子のどちらに挿しても大丈夫です。白いボタン 8 ヶ所、灰色ボタン 1 カ所の、計 9 カ所です。



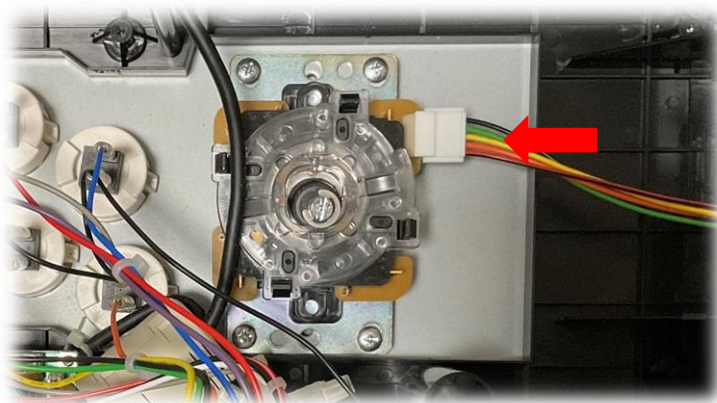
4. 残った方のボタン端子に、ファストン端子を差し込む



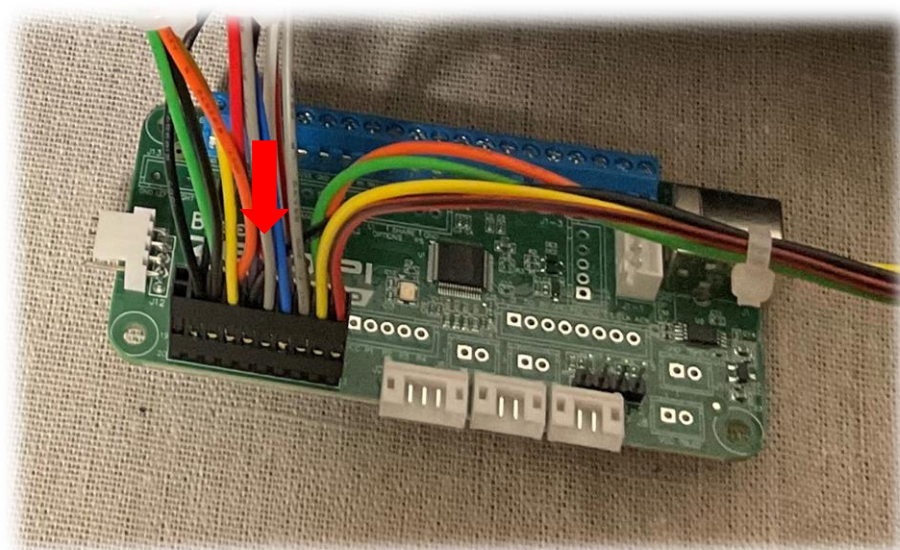
マニュアルの J9 コネクタ表で対応ケーブルを確認し、対応するボタン端子にファストン端子を差し込んでいきましょう。

全てのボタン端子に「一本の GND 端子」と「一本の信号線端子」が接続されていることを確認しましょう。

5. スティックに白い端子を差し込む



6. UFBE 本体に J9 コネクタを差し込む



このコネクタは間違い防止機構がないので、表裏に十分注意しましょう。写真では左端にケーブルが無いのが正解です。

以上で接続完了です。

USB ケーブルを挿し込みパソコンに繋ぎ、動作確認をしましょう。

問題がなければ裏ボタンを元に戻し作業完了です。